

2026年 シラバス

履修規定	必修課目	授業課目	文化論
履修学年	1年	コース	理容科 美容科
担当教員	小山民恵	経歴	美容文化論教員資格
担当教員		経歴	文化論教員資格 文化論同時授業教員資格
授業時間数	32	授業方法及び場所	講義 校内

1. 教科・科目の目標（到達目標）

- ・理容業・美容業がどのように発生し、時代の変遷の中で、どのように発展していったのかという理容・美容の文化史を知ることが、現代の理容・美容を知るうえで非常に重要であることを理解させ、理容師・美容師という職業の責務、役割、使命等を熟考させる。
- ・理容美容の歴史の中にあるヘア、メイク、ファッションのデザインを学ぶことで今後のデザインのヒントやそこから生まれる創造力を培う。

2. 学習内容

- ・教科書巻末による年表を基に、日本、西洋と分け時系列に学んでいく。

3. 学習方法

- ・講義により行うが、少人数であるため一方通行にならないよう学生の発言を促すよう工夫をする。
- ・授業毎に、単元テストを行い反復することにより理解度を深める。
- ・学生の担当する単元を決め、発表させる。（板書、PP等自由に使用させる）
- ・各時代のヘア、化粧、ファッションの特徴を視覚により明確にする。

4. 学習評価

- ・学習態度、出欠状況を評価する。
- ・学期末テスト
- ・提出物、単元テスト

教科書	文化論 (日本理容美容教育センター発行)	参考文献 副教材等	PPによる提示 プリント
-----	-------------------------	--------------	-----------------

学習計画

月	学習項目	学習内容・方法
4月	第1章 総論 第2章 日本の理容業・美容業の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・理容美容の語義と文化史の中での理容・美容 ・理容業・美容業の発生 ・単元テスト
5月	第2章 日本の理容業・美容業の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の理容業・美容業 ・近代の理容業・美容業 ・単元テスト
6月	第2章 日本の理容業・美容業の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・年表による確認 ・巻末年表による日本の理容業・美容業の変遷 ・単元テスト
7月	第3章 ファッション文化史 日本編	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文・弥生・古墳時代 ・夏休み課題説明 ・学期末テスト
9月 10月	第3章 ファッション文化史 日本編	<ul style="list-style-type: none"> ・学生による夏休み課題発表 <ul style="list-style-type: none"> ①古代(飛鳥・奈良・平安時代) ②中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代) ・補足説明 ・近世Ⅰ(戦国末・安土桃山時代) ・単元テスト
11月	第3章 ファッション文化史 日本編	<ul style="list-style-type: none"> ・近世Ⅱ(江戸時代) ・単元テスト
12月 1月	第3章 ファッション文化史 日本編	<ul style="list-style-type: none"> ・近代(明治・大正・昭和20年まで) ・学期末テスト ・現代Ⅰ(1945年～1950年代) ・現代Ⅱ(1960年～1970年代) ・現代Ⅲ(1980年～1990年代) ・単元テスト
2月 3月	第3章 ファッション文化史 日本編 第4章 ファッション文化史 西洋編	<ul style="list-style-type: none"> ・現代Ⅳ(2000年代以降) ・古代エジプト ・古代ギリシャ・ローマ ・古代ゲルマン ・学期末テスト